

令和2年度 調布市立布田小学校 学校経営計画（学校長 樋川 宣登志）

学校の教育目標	
○自ら考えくふうする子 ○なかよく助け合う子 ○けんこうでねばり強い子	
目指す学校像(ビジョン)	
<p align="center">「子どもたち一人一人を大切に作る学校」</p> <p>一人一人の子どもが大切にされ、その中で、豊かな心、確かな学力、健やかな身体がはぐくまれてゆかなければならない。子どもたちの個性、願いを大切に、子どもたちが自分の居場所を感じられる学校を目指す。子どもに対する教職員の愛情を土壌に、子どもたちの「学びたい」「できるようになりたい」という意欲を種として、日々の授業の充実により、子どもたちそれぞれの力、個性を伸ばしていく。教職員は、子どもたち一人一人の幸せを思い、子どもたちを理解することに努めるとともに、その達成のための手立てを考え、職務を振り返り、改善・工夫のための自己研鑽に努める。厳しくも思いやりのある職員集団として協力・協働していく。</p>	
ビジョンの設定理由 (本校の現状と課題)	各学年・学級は落ち着いていて、子どもたちは真面目に学習に取り組む様子が見られる。しかし、自分の気持ちを豊かに表現したり、安心して友だちと深く関わったりする姿が十分でない面が見られる。一人一人の子どもが尊重され、安心して自らの個性を伸ばし・発揮できる学校風土をつくりあげていきたい。
中期的な経営目標	
<ol style="list-style-type: none"> 1 自律した行動のとれる判断力と、豊かな心を育成する。 2 学ぶ意欲をはぐくみ、基礎基本を定着させる。 3 健康保持・体力増進のために考え、判断する力を育てる。 4 安全・安心な学校生活を確立する。 5 子どもたち一人一人の個性を大切に、伸ばしていく。 6 保護者・地域の教育力を活用して学校の教育活動、児童の安全確保を充実させる。 	

調布市立学校における共通した領域 <短期的な経営目標>

1 豊かな心(徳)	2 確かな学力(知)	3 健やかな体(体)
(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)
① 異学年交流を通して、互いを認め合い尊重する心を育てる(年度後半、感染症が落ち着いてから適宜実施)。	① 授業観察(3回)、授業研究(秋から2回)、スポーツ研修会(月1回)を通して、授業スタイルと授業規律を全校で共有し、学習効果を高める。	① オリンピック・パラリンピック教育推進校として、アスリートや障害者を招き、交流・体験活動を充実させる(秋から3回程度)。
② 文化文芸活動を各学年で実施し、児童の興味関心を広げる。(全学年、2学期から)	② 算数習熟度別指導の「指導と評価」の見直しを図り(1学期、学校再開時から)、個に応じた授業展開を工夫する。	
③ 日々の読書指導(週1回)と読書週間(年2回)を軸に、読書活動を充実させる。		
(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)
① 保護者アンケートで、友達と認め合うことに関する肯定的評価 80%以上。	① 保護者アンケートで、学力の定着に関する肯定的評価 80%以上。	① 保護者アンケートで、健康に関する肯定的評価 80%以上。
②③ 保護者アンケートで、読書に関する肯定的評価 80%以上。	② 保護者アンケートで、算数習熟度別指導に関する肯定的評価 80%以上。	

学校の特色を生かした領域 <短期的な経営目標>

4 安全・安心な学校生活の確立	5 個性の尊重と伸ばし	6 保護者・地域の教育力の活用
(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)
① 定期的な状況把握、いじめ防止対策委員会の組織的な対応を行い、未然防止と早期解決を図る(学校再開時から通年)。	① 特別支援教室専門員・スクールサポーター等による授業補助や個別指導を行い、個別の困り感に対応する(学校再開時から通年)。	① PTA、地区協、健全、開放、四者協議会等を通して、学校経営方針や学校の教育活動について、保護者・地域の理解・協力を得る(緊急事態宣言終息後から、各月1回程度)。
② 感染症予防、アレルギー対応のルールを確実に実施する(学校再開時から通年)	② 校内通級教室の専門的な指導ノウハウを校内で共有し(研修会、年7回程度)各学級で児童・保護者への支援を充実させる。	② 交通見守りボランティア、おやじネット等の協力を得て、登下校見守りや防災・防犯、交通安全の協力を得る(学校再開時から通年)。
(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)
① 発見したいじめ案件の解決 100%。	①② 保護者アンケートで、相談・対応に関する肯定的評価 80%以上。	① 交通事故、犯罪被害0件。
② 感染 0件、アレルギー事故0件		② 学校関係者評価委員による聞き取りで、肯定的評価を得る。

人材育成・組織運営

◇主幹・主任教諭をリーダーとして各分掌に配置し、自主的・計画的に職務を進める組織作り、組織的取組を進める。校長と各リーダーとの打合せ、企画調整会議の活用を通して、ミドルリーダーの育成を図る。

◇働き方改革を推進することを通して、仕事の効率化・見直しの視点を教職員に身に付けさせる。